



残暑が続いており、最近は台風の接近が相次いでいます。すつきりした秋の訪れが待ち遠しいものです。

国会議員の色々な問題行動や発言が、マスコミ等でにぎやかな昨今ですが、九十才女性の新聞投稿のことを取り上げた記事を目にしました。この方は、「私もこれからボケてくるかもしれないが、国会議員ならで生きるかもしれない、なぜなら「記憶にございません」とか「丁寧に説明します」なんて言つていればいいのだから」という投稿でした。

多分この女性は、実際はうやむやの内に済んでしまう今の国の政治の模様を見て投稿されたのでしょう。何とも歯がゆいことだと思いますが、皆さんどう思われましょうか。

世界に眼を向けてみると、英國女王さまの逝去で、世界中に悲しみの輪が拡がった中で国葬が盛大に行われました。一方ウクライナの戦争は現在も収まりません。せめて停戦をと考えます。

身近なウイルスの状況を見ますと、減少傾向にはなったようなものの、終息には程遠い有り様が続いています。

このような世の中です。まずは「よく見、よく聞き、よく考え」ようではありませんか。無意識の行動をなくす努力こそ、忘れてはなりません。また自分の有りのままの姿に「気付く」ことも大変大事なことがあります。

自分自身に目を向け、ありのままの己の姿に「気付く」、そこから仏さまの教えを聞く生活が始まります。私の現在に気付かされる聞法の場を通して、今後の人生で何を求めていくか、摸索する時として、秋の永代経を迎えていただきたいと思います。

期日 二〇二二年十月二十一日(土)

○おつとめ 十三時  
○法 話 十四時  
※お世話前 よろしくお願ひいたします。  
八女市 浄慈寺様  
※おときはありませんが、参詣のかたには  
パンとお茶をお渡しします。

## 住職退任のご挨拶



講師紹介  
島村 宣澄 師  
八女市立花町白木  
浄慈寺住職

顧りみれば、釈哲之（廣瀬哲之）は、先代住職釈円譲（廣瀬円譲）の命終に伴い、当光桂寺の第十五代の住職となり、三十六年の年月を送り今日に至りました。ご門徒を初め、幾多の方々のお力添えをいただき、大きな問題を抱えることもなく、今日を迎えることができました。私の力不足の面を支えていただきまして、色々な困難も越えさせていただき、誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

去る九月二十八日付けで、住職代理であつた釈啓円（廣瀬 啓）が、本山より第十六代光桂寺住職として任命されました。ここに皆様方にご報告をいたすと共に、新住職を支えていただき事を切にお願いいたしまして、甚だ言葉足らずではありますが、退任のご挨拶に代えさせていただきます。

